



# ICT コーナー



ICT 主任 楨本  
教務主任 川島  
ICT 支援員 星見

12月号

## ①毎月の紹介コーナー 「情報モラル教育」

情報モラル教育とは、「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」と文科省では定義されています。正しい情報の見極めやその情報に基づく考え方、行動について責任を持たなければならないのは、情報に関することだけではなく、日常生活の中でも注意しなければならない事柄です。昨今この「情報」の「量」と「質」が問われているため、大きな社会問題にも発展する事態になっているのも事実です。

では、この「情報モラル教育」はいつから始めればよいのでしょうか？そして何を伝えればよいのでしょうか？  
現在タブレットは小学校1年生から配布されています。タブレットを使わなくても教育は可能です。  
以下は文科省が情報モラル教育で設定されている小学校低学年向けのチェックリストです。

- ・約束や決まりを守る
- ・人の作ったものを大切に作る心をもつ
- ・生活の中でのルールやマナーを知る
- ・大人といっしょに使い、危険に近づかない
- ・不適切な情報に出合わない環境で使用する
- ・知らない人に連絡先を教えない
- ・決められた利用の時間や約束を守る

文部科学省 国立教育政策研究所

「情報モラル教育 実践ガイダンス～すべての小・中学校で、すべての先生が指導するために～  
情報モラル指導カリキュラムチェックリスト」より参照

これらは日常生活でも守るべき事柄ですが、インターネットの世界でも見えない相手に対して思いやる気持ちはより大切にしなければならないと思います。また SNS の危険性も理解しなければなりません。まずは大人と一緒にその使い方を学び、家庭においてもその教育の一環を担って頂ければより教育が進むと思われます。

～学研「こそだてまっぷ」サイトより参照～

②今月の情報教育(全校で情報モラルに関する学習を朝の時間を活用して実施します。)



「たった一言のちがいが・・・」

無料通話アプリに夢中の小6の凜。しかし、言い回しを誤解されたことで、仲の良い友人達から仲間外れにされてしまう。凜は、何が原因か分からず、母親に相談するが・・・。

ご家庭でも動画の内容をお子さんと視聴して頂き、家庭ルールをご確認ください。



[https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das\\_id=D0005180213\\_00000](https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180213_00000)

③保護者アンケートより

《Q&A》

Q, ローマ字入力が、完璧ではないですが、これから文章入力の宿題がある場合は、サポートしますが時間がかかるため、金曜日や量の調節を考慮いただけると助かります。

A, 問い合わせありがとうございます。

タイピング指導につきましては、朝学習や授業の中で適宜実施しています。問い合わせの通り、タイピング能力については各児童の能力もありますので、以下のように、全教職員で共通理解をしました。ご確認ください。

①タイピングによる文章入力の課題を出す場合は、内容を細分化してその一部を宿題に充てたり、出した課題を完璧にこなすことを求めたりしないようにする。

②タイピング能力を育成することも大切なので、日々の朝学習や授業でタイピングを取り入れられるように授業の内容に盛り込む。

課題を出す曜日については、基本的には水曜日を配信日として、デジタルのトラブルがあった際に、木・金と学校で対応できるようにしています。今後毎日タブレット PC を持ち帰ることも計画中です。ご家庭でも、ICT 機器にふれる機会が増えると思いますが、お子さんと一緒に使い方や取り組む様子を見守っていただきたいと思っています。

**12月号保護者アンケート**

学校からのアンケートや保護者からの質問などを受け付けるFormsです。(〆切 12月19日(火))

[多西小 学校便り 12月号 アンケート \(office.com\)](https://forms.office.com/r/office.com)

